



千話万来



～2月の指導レター第243号～ 2018

株式会社シイビシー 茂木健志・小玉亜衣

TEL027-266-6855/FAX027-266-6856

E-mail lcbc@linxcbc.co.jp

URL <http://www.linxcbc.co.jp>

〒379-2121 群馬県前橋市小屋原町1082-3

残寒の候、皆様風邪など召されずにお過ごしでしょうか。2018年(平成30年)になり新しい年号に慣れないまま早1ヶ月が経ちました。この冬は気温が低い上に乾燥が続く、体調管理が難しいですね。体調不良者が続出してしまつては予定通りに仕事が進まなくなってしまいます。自己管理も大切ですが、社内で健康経営について考えて見ませんか？寒い時期を乗り越え、皆様が、良き春をお迎えになりますようお祈り申し上げます。

— 今期の目標を立てる —

- ① その目標を立てた目的は何ですか？
 - ② 目標を立てた目的を理解していますか？
 - ③ その目標はどのくらいの期間で達成する目標ですか？
 - ④ 目標を達成するという決意がありますか？
 - ⑤ 目標を達成したときの状況がイメージできますか？
 - ⑥ 目標を達成したかどうかははっきりわかる表現、測定できる表現になっていますか？
 - ⑦ 目標達成の為に具体的にどんな行動をするのか決めてありますか？
 - ⑧ 具体的行動には方法やスケジュール、責任者や役割が示されていますか？
 - ⑨ 到底無理な目標や無理な行動計画を立てて居ませんか？
 - ⑩ 社内全部署と部門目標の共有が出来ていますか？
 - ⑪ 部門内で個人目標の共有が出来ていますか？
- ☆ いかがでしょうか？目標を立てるときのポイントです。チェックしてみてください。



人事・教育コンサルタント
産業カウンセラー
生産性賃金管理士
小玉亜衣

— 守破離を意識していますか？ —

何かを学び、独り立ちしていくまでの課程で、人は“守・破・離”という順に成長していくという意味です。

- ① 最初は先輩・上司の真似をすること、そして教えを素直に守ること、つまり「守」という気持ち大切です。基本を忠実に守り、基礎をしっかり身につける事が自分を発展させる土台となります。話をしっかり聴き、行動を真似たりしながら覚えていきます。
 - ② 基本や基礎が出来る様になれば、次は教えを守るだけでなく、破る行為、つまり「破」へと進みます。自分で工夫して、新たなやり方を考えるのです。考えながら仕事をしていくこと、独自に工夫する。いままでの教えを基礎とし、中核として、自己の知能や個性を発揮して次第に自己のスタイルを試行錯誤しながら創造する。
 - ③ 最後に先輩や上司のもとから離れて、自分自身の考えで学んだ内容を発展させます。基本を踏まえたオリジナルに進化する。仕事の基礎を変革して「離れる」⇒上司の元で学んだことより進化する段階。
- ☆ 基本も出来ていないのに、独自のやり方をやろうとする人。基本は忠実に身につけたが、工夫ややり方を考える事が出来ない人がいませんか？仕事においても成長するためには守破離のステップを踏んでいくことが重要なのです。

一 仕事の健康診断と健康管理 一



職場の健康診断を定期的におこなっていますか？

職場の健康管理を日常的に行っていますか？

定期的に仕事の見直しをして、不良や不具合、クレームを誘発してしまうような仕事や工程がないか健康診断していますか？

また、不良や不具合、クレームが出るたびに新しい決まり事が増え、決まり事が増える一方になっていないか、昔は必要だったけれども、今は必要ないことを惰性で続けていないか健康診断していますか？

その作業の必要性や目的を全員が理解して仕事をしていますか？

皆さんの身体と同じように、定期的な仕事の健康診断が必要です。早期発見早期治療で不良や不具合、クレーム、部門間のひずみが最小限に抑えられるのではないのでしょうか？

では、健康診断をして結果を出すだけで、病気や異常数値は治るのでしょうか？

結果で原因がわかったら、それに対する対策が必要になります。治療や対策を後回しにしていると、目に見えないところで、どんどん症状は悪化していきます。

一見健康そうに見えても、一見滞りなく仕事が進んでいるように見えても、病気のもとが潜んでいることがあります。血圧と体重は毎日量る。3ヶ月に一度血液検査をする。1年に一度人間ドックを受けるなど、仕事の上でもどんな健康診断が必要なのか考えてみてください。

健康診断と並行して大事な事は、健康管理(予防)です。

- ① どんな注意をして検査をしても100%完璧な検査は難しい削減は可能だが、完全にゼロは難しい
- ② 丁寧な検査は多大なコストと時間を要する
- ③ 検査で「不良」を見つけることが出来ても「不良」が減ることはない

だからこそ日々の改善を重ねることが重要なのです。病気にならないよう予防の為に何をすればいいのか問題が起こってから取り組むのではなく、日々作業工程を管理していくことが大切です。

一 仕事の基本は「働きやすさ」 一

使いやすさ・探しやすさ・間違えにくさ・わかりやすさ・報連相のしやすさなど、人間関係も含め「気持ち」が大事です。

- ・ 嫌な仕事、面倒な仕事、大変な仕事こそ標準化する。嫌なまま、面倒なままにしない。
- ・ レア作業(一年に1回、あるいはそれ以下の頻度)こそ手順書を作っておきましょう
 - ① 思い出す時間
 - ② 探す時間
 - ③ 悩む時間
 - ④ 問い合わせる時間が削減できます。



☆ 小さな変化の積み重ねが働きやすさにつながり、やがて会社の力になっていきます。